

# キキョウ (桔梗)



## 語源

キキョウ属 *Platycodon* は、ギリシャ語 プラテュス「広い」＋コードーン「釣鐘(つりがね)」。やや広がったツリガネ型の花をかたどったもの。キキョウの種小名 *grandiflora* は、ラテン語 *grandis* グランディス「大きい、偉大な」＋*florus* フロールス「花」＝「大きな花の」という意味。キキョウは細い茎、低い丈の割に大きな花を咲かせる。

桔梗の名は根が結(桔)実して硬(梗)いことに由来する。

「ききょう」の読みは「きちこう」が転じたものだという。桔梗の花で吉凶を占ったので、キチキョウと桔梗が関連するという説もある。また、木偏を取ると「吉更」、つまり「さらに吉」となることから好まれた。家紋で桔梗紋を用いた武将には美濃の土岐一族や、明智光秀、柴田勝家、太田道灌、加藤清正がいる。

## 基原

*Platycodon grandiflorum* A. De Candolle

キキョウ

キキョウ科 多年生草本

## 薬用部分

根

そのまま乾燥した皮付き桔梗(生干桔梗)とコルク皮を除いた皮去り桔梗(晒桔梗)がある。

## 産地

中国、朝鮮、日本(北海道、長野、新潟)

日本各地に自生しているが、生薬のほとんどは中国などから輸入している。



## 主な成分

サポニン類：プラチコジンA、C、D、ポリガラシンD  
その他：ベツリン、イヌリン

## 主な薬効

鎮痛、鎮咳、去痰、抗炎症、解熱

## 代表的処方

漢方処方用薬であり、消炎排膿薬、鎮咳去痰薬とみなされる処方及びその他の処方に配合されている。また、去痰薬として粉末又は流エキスを用いる。

### 【防風通聖散】

ボウフウツウショウサン

肥満型の壮健な人で、腹が膨満し、便秘、のぼせ症、肩こり、動悸、頭痛、蓄膿、口渇、血圧が高いものの次の諸症に用いる：動脈硬化症、高血圧症、ぜんそく、痔疾、脳出血、常習性便秘、禿頭、慢性腎炎、丹毒  
(処方内容) 当帰／麻黄／芍薬／大黄／川芎／芒硝／山梔子／白朮／連翹／桔梗／薄荷葉／黄芩／生姜／甘草／荊芥／石膏／防風／滑石

### 【荊芥連翹湯】

ケイガイレンギョウトウ

体力中等度以上で、皮膚の色が浅黒く、ときに手足の裏に脂汗をかきやすく腹壁が緊張しているものの次の諸症：蓄膿症(副鼻腔炎)、慢性鼻炎、慢性扁桃炎、にきび

(処方内容) 当帰／荊芥／芍薬／防風／川芎／薄荷葉／地黄／枳殻／黄連／甘草／黄芩／白芷／黄柏／桔梗／山梔子／柴胡／連翹

※参考文献：「生薬単」「日本薬局方」「中薬大辞典」「牧野和漢薬草大図鑑」「漢方のくすりの事典」「和漢薬の事典」「一般用漢方製剤承認基準」

⚠ この資料は業者間取引用の説明資料です。一般消費者の方への販促資料としてはお使いにならないようお願いいたします。



健やかな未来を創る自然の力

福田龍株式会社

(お問い合わせ) 〒530-0047大阪市北区西天満1-5-11

TEL: 06-6364-5861 FAX: 06-6364-6562

URL: www.fukudaryu.co.jp

Power of Kanpou